

## 參考資料



## 1. 平成 28 年度 医師票

問 1. あなたの勤務している病院の所在地を教えてください。(1 つ選択)

※都道府県名 プルダウン

問 2. あなたの勤務している病院がある市町村（特別区の場合は区）の規模を教えてください。(1 つ選択)

1. 人口 50 万人以上の市（区）（政令指定都市等）
2. 人口 20 万人以上 50 万人未満の市（区）（中核市等）
3. 人口 10 万人以上 20 万人未満の市（区）
4. 人口 10 万人未満の市（区）
5. 町村

問 3. 貴院の開設主体を教えてください。(1 つ選択)

1. 国等（厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関)）
2. 地方公共団体等（都道府県、市町村、地方独立行政法人）
3. 公的医療機関（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）
4. 社会保険関係団体（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）
5. 医療法人
6. 個人
7. その他（公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人）

問 4. 貴院の許可病床数を教えてください。(1 つ選択)

1. 20-99 床	3. 200-299 床	5. 400-499 床
2. 100-199 床	4. 300-399 床	6. 500 床以上

問 5. あなたの年齢を教えてください。(1 つ選択)

1. 20 代    2. 30 代    3. 40 代    4. 50 代    5. 60 代以上

問 6. あなたの性別を教えてください。(1 つ選択)

1. 女性    2. 男性

問 7. あなたの医師としてのキャリア（通算経験年数）を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。（1つ選択）

1. 1年未満    2. 3年未満    3. 5年未満    4. 10年未満    5. 20年未満    6. 20年以上

問 8. あなたが主に専門としている診療科（最も時間を費やしている診療科）を教えてください。（1つ選択）

1. 内科	6. 小児科	11. 耳鼻いんこう科	16. 救急科
2. 外科	7. 精神科	12. 産科・婦人科・産婦人科	17. その他（ ）
3. 皮膚科	8. 泌尿器科	13. 放射線科	
4. アレルギー科	9. 整形外科・リハビリテーション科	14. 麻酔科	
5. リウマチ科	10. 眼科	15. 病理診断科・臨床検査科	

<労働時間について伺います>

問 9. 貴院の就業規則等で定められた医師（あなた）の1週間の所定労働時間数（変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数）は何時間ですか。（平成28年6月時点）（数字を記入）

1週間の週所定労働時間    （    ）時間（    ）分

問 10. あなたはこれまで1週間の所定労働時間数をご存じでしたか。（1つ選択）

1. 知っていた  
2. 知らなかった

問 11. あなたの職場の労働時間の管理方法を教えてください。（1つ選択）

1. タイムレコーダー・タイムカード  
2. ICカード  
3. 出勤簿・管理簿  
4. その他（    ）  
5. 労働時間を管理していない

問 12. あなたの 平成 28 年 6 月の 1 か月間の おおよその時間外労働時間数 (所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く。) を教えてください。(1つ選択)

なお、時間外労働をしていない場合には、時間・分を「0 (ゼロ)」と回答してください。

1. おおよそ ( ) 時間 ( ) 分

2. わからない ⇒問 13 へ

問 12-1. あなたの 平成 28 年 6 月の 1 か月間の 時間外労働の主な理由を教えてください。

(いくつでも)

1. 緊急対応

2. 手術や外来対応等の延長

3. 記録・報告書作成や書類の整理

4. 会議・勉強会・研修会等への参加

5. 他職種・他機関との連絡調整

6. 勤務開始前の準備

7. その他 (具体的に : )

問 13. あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。(1つ選択) なお、時間外労働時間がタイムレコーダー・タイムカード・ICカードで管理されている場合は、1を選択してください。(1つ選択)

1. 申告している ⇒問 14 へ

2. 申告していない

問 13-1. あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。(いくつでも)

1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから

2. 申告しても認められないことが多いから

3. 残業手当に限度があるから

4. 申告できる残業時間が決まっているから

5. 自分の都合や、自分のこだわりのために残業をしたから

6. 仕事が未熟でほかの人より時間がかかるから

7. その他 ( )

問 14. あなたの時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか。(1つ選択)

1. タイムレコーダー・タイムカード・ICカードのとおり支払われている(制限なし)
2. 申告時間どおりに支払われている(制限なし)
3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払われていない
5. 年俸制であり時間外労働手当は年俸に含まれている
6. 時間外労働時間については支払われていない
7. その他 ( )
8. わからない

<休日・休暇について伺います>

問 15. あなたの 平成 28 年 6 月 の 所定休日日数及び実際に業務を休んだ日数を教えてください。

(数字を記入)

所定休日日数 ( ) 日

実際に業務を休んだ日数 ( ) 日

問 16. あなたの 平成 27 年度 の 年次有給休暇の付与日数(※1)と取得日数を教えてください。

(数字を記入)

あなたに付与された日数 ( ) 日

あなたが取得した日数 ( ) 日

※1: 年次有給休暇の付与日数とは、1年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

<当直・夜勤について伺います>

問 17. 平成 28 年 6 月 の当直(①宿直・②日直)・③夜勤(交代制勤務の下で夜間に行った勤務)・④オンコールの回数を教えてください。①②③④それぞれについて、該当がない場合には「0(ゼロ)」と回答してください。(数字を記入)

① 宿直	回	③夜勤	回
② 日直	回	④オンコール	回

問 18. 問 17 で平成 28 年 6 月に①宿直を行った方に伺います。該当しない方は問 19 へ

問 18-1. 貴院で決められている宿直 1 回あたりの拘束時間数と平成 28 年 6 月の 宿直 1 回あたりの実労働時間数（患者対応など通常勤務時と同様の業務を行った時間数）を教えてください。（数字を記入）

貴院の宿直 1 回あたりの拘束時間数 ( ) 時間 ( ) 分

宿直 1 回あたりの実労働時間数 ( ) 時間 ( ) 分

問 18-2. 宿直明けの勤務について、どのような勤務割になっていますか。（一つ選択）

1. 通常勤務で、業務内容の軽減はない
2. 通常勤務であるが、業務内容は軽減される
3. 短時間勤務で、業務内容の軽減はない
4. 短時間勤務で、業務内容も軽減される
5. 勤務なし（休み）
6. その他 ( )
7. 日によって異なる（具体的に： )
8. わからない

問 18-3. あなたは平成 28 年 6 月に問 17①の回数の宿直を行いました。これらの宿直明けの実際の勤務状況を教えてください。（数字を記入）

1. 通常勤務 ( ) 回

2. 短時間勤務 ( ) 回

3. 業務内容の軽減 ( ) 回

4. 勤務なし ( ) 回

問 19. 問 17 で平成 28 年 6 月に③夜勤を行った方に伺います。該当しない方は問 20 へ

問 19-1. あなたご自身の 主な勤務形態を教えてください。（1つ選択）

1. 3 交代制（変則含む）（※ 2）

3. それ以外 ( )

2. 2 交代制（変則含む）（※ 2）

4. わからない

※ 2 : 交代制勤務は、24 時間を 2 つのシフトに分ける「2 交代制」や、3 つのシフトに分ける「3 交代制」による勤務である。各シフトの長さがほぼ均一のタイプのほか、変則的なタイプ（夜勤時間 9～10 時間の変則 3 交代制、夜勤時間 13～16 時間の変則 2 交代制など）がある。

問 19-2. あなたの 平成 28 年 6 月の夜勤勤務 について伺います。①平成 28 年 6 月の 1 か月間のおおよその総夜勤時間数、及び、問 19-1 で回答した主な勤務形態における 夜勤 1 回あたりの②勤務割上の夜勤時間数と③実際の夜勤時間数（夜勤を行った際の時間外労働時間を含む。）を教えてください。

- ①1 か月間のおおよその総夜勤時間数 ( ) 時間 ( ) 分  
うち、休憩・仮眠時間数 ( ) 時間 ( ) 分
- ②夜勤 1 回あたりの勤務割上の夜勤時間数 ( ) 時間 ( ) 分  
うち、休憩・仮眠時間数 ( ) 時間 ( ) 分
- ③夜勤 1 回あたりの実際の夜勤時間数 ( ) 時間 ( ) 分  
うち、休憩・仮眠時間数 ( ) 時間 ( ) 分

問 20. あなたの 平成 28 年 6 月の ある勤務日の勤務の開始から勤務の終了までの時間が最も長い時間（時間外労働時間を含み、当直時間は含まない。）を教えてください。（数字を記入）

最長 約 ( ) 時間 ( ) 分（うち、休憩時間 ( ) 時間 ( ) 分）

問 21. あなたの 平成 28 年 6 月の ある勤務日の勤務（時間外労働を含む。）の終了から次の勤務の開始までの間隔が最も短い時間を教えてください。（数字を記入）

最短 約 ( ) 時間 ( ) 分

<勤務環境等について伺います>

問 22. あなたは、今の勤務環境にどの程度満足していますか。（1 つ選択）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらかという不満
4. 不満

問 23. 問 22 について、あなたがそう思う理由を教えてください。

( )



問 24. あなたの現在の健康状態について教えてください。(1つ選択)

1. 健康である
2. どちらかという健康である
3. どちらかという健康ではない
4. 健康でない

問 25. あなたの平成 28 年 6 月の睡眠の状況について教えてください。(1つ選択)

1. 睡眠は十分にとれていた
2. 睡眠は比較的とれていた
3. 睡眠はあまりとれていなかった
4. 睡眠は不足していた

問 26. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、貴院で取り組んでおり、あなたが勤務環境改善の効果があると感じているものを教えてください。(いくつでも)

問 27. 問 26 の取組の中で、あなたの職場で取り組んでほしいと思う項目を教えてください。(いくつでも)

## I 働き方・休み方改善

### 1) 労働時間管理

1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる
2. 1 回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる
3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している
4. 夜勤負担の軽減（夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等）を行っている
5. 夜勤専従者への配慮（夜勤の時間・回数の制限等）を行っている
6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している
7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている

### 2) 勤務負担軽減

8. 補助職（医師事務作業補助者、看護補助者等）を配置している
9. 正職員について多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など）を活用している
10. 当直（宿直・日直）明けの勤務者に対する配慮を行っている（連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等）

11. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している
12. チーム医療や多職種連携（業務分担・連携の強化等）により負担軽減を図っている
13. 情報通信機器を活用した業務効率化・省力化を推進している
14. 電子カルテを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる
15. 勤務シフト作成ソフトを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる
16. 募集・採用を強化するための取組を実施している
17. 地域の医療機関との連携（オープンシステム、地域連携クリティカルパス、外来機能の分担等）を推進している

## II 職員の健康支援

18. 職員に健康診断を受診するよう働きかけている
19. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる
20. 感染症予防対策（B型肝炎ウイルス、インフルエンザ等）に取り組んでいる
21. 職員のメンタルヘルス対策（相談窓口の設置、復職支援プログラムの策定、職場改善等）に取り組んでいる
22. 過重労働者に対する面談を実施している
23. 作業環境対策（腰痛対策や眼精疲労対策等）に取り組んでいる
24. 有害化学物質（抗がん剤、エチレンオキシド、キシレン、ホルムアルデヒドの取扱い等）の暴露予防に取り組んでいる
25. 職業感染症（血液・体液や空気感染）の予防対策に取り組んでいる
26. 安全衛生管理に関する組織体制及び規程を整備している

## III 働きやすさ確保のための環境整備

### 1) 仕事と子育て・介護等の両立支援

27. 男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている
28. 院内保育所等を整備している
29. 学童期の子どもを有する職員への支援を行っている
30. 保育・介護サービス利用料の補助制度（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している
31. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している
32. 法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している
33. 法定以上の介護休業制度、介護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している
34. その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している
35. 子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている



## V. その他

- 53. 患者満足度の調査を行っている
- 54. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている
- 55. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる
- 56. その他 ( )
- 57. 該当するものがない

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

## 2. 平成 28 年度 看護師票

問 1. あなたが勤務している病院の所在地を教えてください。(1 つ選択)

※都道府県名 プルダウン

問 2. あなたの勤務している病院がある市町村（特別区の場合は区）の規模を教えてください。(1 つ選択)

1. 人口 50 万人以上の市（区）（政令指定都市等）
2. 人口 20 万人以上 50 万人未満の市（区）（中核市等）
3. 人口 10 万人以上 20 万人未満の市（区）
4. 人口 10 万人未満の市（区）
5. 町村

問 3. 貴院の開設主体を教えてください。(1 つ選択)

1. 国等（厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関)）
2. 地方公共団体等（都道府県、市町村、地方独立行政法人）
3. 公的医療機関（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）
4. 社会保険関係団体（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）
5. 医療法人
6. 個人
7. その他（公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人）

問 4. 貴院の許可病床数を教えてください。(1 つ選択)

1. 20-99 床	3. 200-299 床	5. 400-499 床
2. 100-199 床	4. 300-399 床	6. 500 床以上

問 5. あなたの年齢を教えてください。(1 つ選択)

1. 20 代    2. 30 代    3. 40 代    4. 50 代    5. 60 代以上

問 6. あなたの性別を教えてください。(1 つ選択)

1. 女性    2. 男性



問 11-1. あなたの 平成28年6月の時間外労働の主な理由を教えてください。(いくつでも)

1. 緊急対応
2. 手術や外来対応等の延長
3. 記録・報告書作成や書類の整理
4. 会議・勉強会・研修会等への参加
5. 他職種・他機関との連絡調整
6. 勤務開始前の準備
7. その他 (具体的に： )

問 12. あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。(1つ選択) なお、時間外労働時間がタイムレコーダー・タイムカード・IC カードで管理されている場合は、1を選択してください。

1. 申告している ⇒問 13 へ
2. 申告していない

問 12-1. あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。(いくつでも)

1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
2. 申告しても認められないことが多いから
3. 残業手当に限度があるから
4. 申告できる残業時間が決まっているから
5. 自分の都合や、自分のこだわりのために残業をしたから
6. 仕事が未熟でほかの人より時間がかかるから
7. その他 ( )

問 13. あなたの時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか。(1つ選択)

1. タイムレコーダー・タイムカード・IC カードのとおり支払われている (制限なし)
2. 申告時間どおり支払われている (制限なし)
3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払われていない
5. 年俸制であり時間外労働手当は年俸に含まれている
6. 時間外労働時間については支払われていない
7. その他 ( )
8. わからない

<休日・休暇について伺います>

問 14. あなたの 平成 28 年 6 月の所定休日日数及び実際に業務を休んだ日数を教えてください。

(数字を記入)

所定休日日数 ( ) 日

実際に業務を休んだ日数 ( ) 日

問 15. あなたの 平成 27 年度の年次有給休暇の付与日数 (※1) と取得日数を教えてください。

(数字を記入)

あなたに付与された日数 ( ) 日

あなたが取得した日数 ( ) 日

※1: 年次有給休暇の付与日数とは、1 年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

<夜勤等の勤務状況について伺います>

問 16. あなたの 平成 28 年 6 月の①夜勤・②オンコールの回数を教えてください。なお、平成 28 年 6 月の途中で夜勤専従期間が開始または終了した方は、1. 及び 2. の両方の「①夜勤」「②オンコール」の欄に回数を入力して下さい。(数字を記入)

	①夜勤	②オンコール
1. あなたが夜勤専従でない看護師の場合	回	回
2. あなたが夜勤専従の看護師の場合	回	回

問 17. 問 16 で 平成 28 年 6 月に①夜勤を行った方に伺います。

問 17-1. あなたご自身の 主な勤務形態を教えてください。(1 つ選択)

1. 3 交代制 (変則含む) (※ 2)

2. 2 交代制 (変則含む) (※ 2)

3. 夜勤専従

4. それ以外 ( )

5. わからない

※2: 交代制勤務には、24 時間を 2 つのシフトに分ける「2 交代制」や、3 つのシフトに分ける「3 交代制」がある。各シフトの長さがほぼ均一のタイプのほか、変則的なタイプ (夜勤時間 9～10 時間の変則 3 交代制、夜勤時間 13～16 時間の変則 2 交代制など) がある。





問 22. あなたの現在の健康状態について教えてください。(1つ選択)

1. 健康である
2. どちらかという健康である
3. どちらかという健康ではない
4. 健康でない

問 23. あなたの平成 28 年 6 月の睡眠の状況について教えてください。(1つ選択)

1. 睡眠は十分にとれていた
2. 睡眠は比較的とれていた
3. 睡眠はあまりとれていなかった
4. 睡眠は不足していた

問 24. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、貴院で取り組んでおり、あなたが勤務環境改善の効果があると感じているものを教えてください。(いくつでも)

問 25. 問 24 の取組の中で、あなたの職場で取り組んでほしいと思う項目を教えてください。(いくつでも)

## I 働き方・休み方改善

### 1) 労働時間管理

1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる
2. 1 回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる
3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している
4. 夜勤負担の軽減（夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等）を行っている
5. 夜勤専従者への配慮（夜勤の時間・回数の制限等）を行っている
6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している
7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている

### 2) 勤務負担軽減

8. 補助職（医師事務作業補助者、看護補助者等）を配置している
9. 正職員について多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など）を活用している
10. 当直（宿直・日直）明けの勤務者に対する配慮を行っている（連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等）

11. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している
12. チーム医療や多職種連携（業務分担・連携の強化等）により負担軽減を図っている
13. 情報通信機器を活用した業務効率化・省力化を推進している
14. 電子カルテを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる
15. 勤務シフト作成ソフトを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる
16. 募集・採用を強化するための取組を実施している
17. 地域の医療機関との連携（オープンシステム、地域連携クリティカルパス、外来機能の分担等）を推進している

## II 職員の健康支援

18. 職員に健康診断を受診するよう働きかけている
19. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる
20. 感染症予防対策（B型肝炎ウイルス、インフルエンザ等）に取り組んでいる
21. 職員のメンタルヘルス対策（相談窓口の設置、復職支援プログラムの策定、職場改善等）に取り組んでいる
22. 過重労働者に対する面談を実施している
23. 作業環境対策（腰痛対策や眼精疲労対策等）に取り組んでいる
24. 有害化学物質（抗がん剤、エチレンオキシド、キシレン、ホルムアルデヒドの取扱い等）の暴露予防に取り組んでいる
25. 職業感染症（血液・体液や空気感染）の予防対策に取り組んでいる
26. 安全衛生管理に関する組織体制及び規程を整備している

## III 働きやすさ確保のための環境整備

### 1) 仕事と子育て・介護等の両立支援

27. 男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている
28. 院内保育所等を整備している
29. 学童期の子どもを有する職員への支援を行っている
30. 保育・介護サービス利用料の補助制度（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している
31. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している
32. 法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している
33. 法定以上の介護休業制度、介護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している
34. その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している
35. 子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている



## V. その他

- 53. 患者満足度の調査を行っている
- 54. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている
- 55. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる
- 56. その他 ( )
- 57. 該当するものがない

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

### 3. 平成 28 年度 施設票

問 1. 貴院の所在地を教えてください。(1 つ選択)

※都道府県名 プルダウン

問 2. 貴院がある市町村（特別区の場合は区）の規模を教えてください。(1 つ選択)

1. 人口 50 万人以上の市（区）（政令指定都市等）
2. 人口 20 万人以上 50 万人未満の市（区）（中核市等）
3. 人口 10 万人以上 20 万人未満の市（区）
4. 人口 10 万人未満の市（区）
5. 町村

問 3. 貴院の開設主体を教えてください。(1 つ選択)

1. 国等（厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関)）
2. 地方公共団体等（都道府県、市町村、地方独立行政法人）
3. 公的医療機関（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）
4. 社会保険関係団体（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）
5. 医療法人
6. 個人
7. その他（公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人）

問 4. 貴院の許可病床数を教えてください。(1 つ選択)

1. 20-99 床	3. 200-299 床	5. 400-499 床
2. 100-199 床	4. 300-399 床	6. 500 床以上

問 5. 貴院の最も多い病床を教えてください。(1 つ選択)

1. 一般病床	3. 感染症病床	5. 療養病床
2. 精神病床	4. 結核病床	

問 5-1. 貴院の最も多い病床の病床利用率と平均在院日数（小数点第 1 位まで）を教えてください。(数字を記入)

平成 27 年度 病床利用率 ( ) % 平均在院日数 ( ) 日  
 平成 28 年 6 月 病床利用率 ( ) % 平均在院日数 ( ) 日

問 5-2. 貴院における最も多い病床を有する医療機能を教えてください。(1つ選択)

1. 高度急性期	3. 回復期	4. 慢性期
2. 急性期		

問 6. 貴院が標榜している診療科目を教えてください。(いくつでも)

1. 内科	6. 小児科	11. 耳鼻いんこう科	16. 救急科
2. 外科	7. 精神科	12. 産科・婦人科・ 産婦人科	17. 歯科
3. 皮膚科	8. 泌尿器科	13. 放射線科	18. その他
4. アレルギー科	9. 整形外科・リハビ リテーション科	14. 麻酔科	
5. リウマチ科	10. 眼科	15. 病理診断科・臨 床検査科	

問 7. 平成 28 年 6 月 30 日現在の貴院の職員について伺います。①職員数、② ①のうち、フルタイム勤務の正規職員数 (※1)、③ ②のうち、フルタイム勤務の女性正規職員数を教えてください。(産休・育休・休職など稼働していない職員は除く。)(数字を記入)

	①職員数	② ①のうち、 フルタイム勤務の 正規職員数	③ ②のうち、 フルタイム勤務の <u>女性</u> 正規職員数
全体	人	人	人
うち、医師数	人	人	人
うち、看護職数	人	人	人

※1：フルタイム勤務とは、就業規則等で定められた週所定労働時間数（変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数）での勤務をいう（育児等による短時間勤務は除く。）。  
また、正規職員とは、雇用期間の定めがないものをいう（パート労働者等は除く。）。

<医療従事者の勤務環境改善の取組について伺います>

問 8. 貴院における、医療従事者の勤務環境改善に関する現状認識として、当てはまるものを教えてください。(1つ選択)

1. 重要な課題である	3. あまり重要な課題ではない
2. やや重要な課題である	4. 重要な課題ではない

問 9. 問 8 について、貴院がそのように認識する理由を教えてください。

--

問 10. 貴院における、医療従事者の勤務環境改善に関する取組状況について教えてください。(1つ選択)

1. 職種を問わず取り組んでいる
2. 一部の職種で取り組んでいる (具体的な職種： )
3. あまり取り組んでいない ⇒問 12 へ
4. 全く取り組んでいない ⇒問 12 へ

問 11. 問 10 で 1 又は 2 と回答した病院にお尋ねします。3 又は 4 と回答した人は問 12 へ  
貴院における医療従事者の勤務環境改善の具体的な取組態様について教えてください。

(各項目について該当するものを 1 つ選択)

(下記の 1～7 は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き (改訂版)」(平成 27 年 3 月)に記載している、マネジメントシステム導入の 7 つのステップに対応しています。)

	取り組んでいる		取り組んでいない
		支援センターを活用	
1. 勤務環境改善の取組方針を表明して職員に周知している			
2. 経営トップが主体的に関与して組織的に取り組んでいる			
3. 勤務環境改善のための推進体制 (委員会・プロジェクトチーム、専門部署・専任担当者等) を設置している			
4. 勤務環境の現状の把握・分析を行っている			
5. 勤務環境改善に向けた達成目標を設定している			
6. 勤務環境改善に向けた対策と行動計画 (アクションプラン) を策定している			
7. 取組の達成状況や成果を確認・評価し、目			



標や計画の見直し、取組方法の改善等につなげている			
8. その他 ( )			

問 11-1. 問 11 の項目 5 に取り組んでいる病院にお伺いします。 どのような目標を設定していますか。

問 12. 問 10 で 3 又は 4 と回答した病院にお尋ねします。 1 又は 2 と回答した人は問 13 へ貴院が医療従事者の勤務環境改善にあまり又は全く取り組んでいない理由を教えてください。

問 13. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、貴院で取り組んでいるものを教えてください。(いくつでも)

(下記の選択肢は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成 27 年 3 月)に記載している、医療機関の勤務環境の現状把握及び課題抽出のための確認項目を参考に作成しています。)

## I 働き方・休み方改善

### 1) 労働時間管理

1. 医療従事者の時間外労働時間数を把握している
2. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる
3. 1 回当たりの最長勤務時間を削減している
4. 医療従事者の年次有給休暇の取得率を把握している
5. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している
6. 夜勤負担の軽減(夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数  
の制限、仮眠時間の確保等)を行っている
7. 夜勤専従者への配慮(夜勤の時間・回数の制限等)を行っている
8. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している
9. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている

### 2) 勤務負担軽減

10. 補助職(医師事務作業補助者、看護補助者等)を配置している
11. 正職員について多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックス  
タイム制など)を活用している

12. 当直（宿直・日直）明けの勤務者に対する配慮を行っている（連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等）
13. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している
14. チーム医療や多職種連携（業務分担・連携の強化、補助職の活用等）により負担軽減を図っている
15. 情報通信機器を活用した業務効率化・省力化を推進している
16. 電子カルテを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる
17. 勤務シフト作成ソフトを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる
18. 募集・採用を強化するための取組を実施している
19. 地域の医療機関との連携（オープンシステム、地域連携クリティカルパス、外来機能の分担等）を推進している

## II 職員の健康支援

20. 職員の健康診断の受診率を把握している
21. 職員に健康診断を受診するよう働きかけている
22. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる
23. 感染症予防対策（B型肝炎ウイルス、インフルエンザ等）に取り組んでいる
24. 過労・メンタル等により出勤していない者の人数を把握している
25. 過重労働による面談者数を把握している
26. 職員のメンタルヘルス対策（相談窓口の設置、復職支援プログラムの策定、職場改善等）に取り組んでいる
27. 過重労働者に対する面談を実施している
28. 作業環境対策（腰痛対策や眼精疲労対策等）に取り組んでいる
29. 有害化学物質（抗がん剤、エチレンオキシド、キシレン、ホルムアルデヒドの取扱い等）の暴露予防に取り組んでいる
30. 職業感染症（血液・体液や空気感染）の予防対策に取り組んでいる
31. 安全衛生管理に関する組織体制及び規程を整備している

## III 働きやすさ確保のための環境整備

### 1) 仕事と子育て・介護等の両立支援

32. 男性職員の育児休業取得者数や育児休業取得率を把握している
33. 男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている
34. 育児休業取得後の復職者数を把握している
35. 介護休業取得者数を把握している
36. 院内保育所等を整備している
37. 学童期の子どもを有する職員への支援を行っている
38. 保育・介護サービス利用料の補助制度（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している
39. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している



62. 定期的な面談等により職員が抱える事情や希望を把握し、可能な限りこれらを尊重した配置や業務面の配慮を行い、定着を図っている

#### IV 働きがいの向上

##### 1) キャリア形成支援

63. 研修・学会への参加職員数を把握している  
64. 研修・学会への参加を支援している  
65. 職員による学会への発表数を把握している  
66. 正規・非正規を問わずすべての職員のキャリア形成支援（研修等に関する情報提供や研修等への職員参加の支援、子育て等と両立しながらの勤務の継続に関する相談窓口の設置や情報提供等）が実施されている  
67. 法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている

##### 2) 休業後のキャリア形成支援

68. 休業から復帰後の職員のキャリア形成（復帰職員の業務遂行能力の回復・向上、実施可能業務の拡大等）の状況を把握している  
69. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援（業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等）を行っている  
70. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている  
71. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）を行っている

#### V. その他

72. 患者満足度の調査を行っている  
73. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている  
74. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる  
75. その他（）  
76. 該当するものがない ⇒問 14 へ

問 13-1. 勤務環境改善の効果が高いと評価できる取組を、問 13 で回答したものの中から、選択してください。（いくつでも）

問 13-2. 勤務環境改善の取組の効果として、どのような経営上のメリットを感じていますか。

(いくつでも)

1. 離職率が低下した
2. 人材が確保しやすくなった
3. 職員が増えた
4. 職員の時間外労働が減少した
5. 職員の満足度が向上した
6. インシデントやアクシデントが減少した/医療安全が改善・向上した
7. 患者の満足度が向上した/患者のクレームが減少した
8. 治療結果が向上した/死亡率や再入院率が減少した
9. 患者の受入れ人数が増加した
10. 手術件数が増加した
11. 病床の稼働率が向上した
12. 診療報酬の加算の算定ができるようになった
13. 経営指標が改善した (具体的に： )
14. その他 ( )
15. 経営上のメリットは感じていない

<労務管理等について伺います>

問 14. 貴院では雇用契約書又は労働条件通知書を職員に渡していますか。(1つ選択)

1. 渡している
2. 渡していない

問 15. 貴院では就業規則を職員に周知していますか。(1つ選択)

1. 周知している
2. 特に周知していない

問 16. 時間外労働に関する **労使協定 (36 協定) の締結 (※2) について** 伺います。労

働基準監督署に対し、どのような届け出を行っていますか。(1つ選択)

1. 特別条項 (※3) なしの 36 協定を届け出ている
2. 特別条項を定めた 36 協定を届け出ている
3. 36 協定を締結していない

※2：時間外・休日労働に関する協定で、労働基準法第 36 条に定めがあることから一般に 36 (サブロク) 協定といわれている。

※3：特別条項とは、「労働基準法第三十六条第一項の協定で定める労働時間の延長の限度等に関する基準 (平成10年労働省告示第154号)」第3条ただし書に基づく限度時間を超える時間外労働の定めをいう。

問 17. 貴院では、正規職員である短時間勤務の医師も当直（宿直・日直）を行っていますか。（1つ選択）

1. 当直（宿直・日直）を行っている
2. 宿直は行っていないが、日直は行っている
3. 日直は行っていないが、宿直は行っている
4. 当直（宿直・日直）は行っていない
5. 正規職員である短時間勤務の医師はいない

問 18. 貴院では、正規職員である短時間勤務や外来担当の看護師も夜勤を行っていますか。（いくつでも）

1. 短時間勤務の病棟配置の看護師も夜勤を行っている
2. 短時間勤務の外来担当の看護師も夜勤を行っている
3. 短時間勤務でない外来担当の看護師も夜勤を行っている
4. いずれもあてはまらない

#### < 「いきサポ」について伺います >

問 19. あなたは、「いきサポ」（※4）をご存じでしたか。（1つ選択）

1. 知っており、閲覧したことがある
2. 知っているが、閲覧したことはない ⇒問 19-4 へ
3. この調査票で知った（今まで知らなかった） ⇒問 20 へ

※4: 「いきサポ」とは、医療機関の管理者などを対象に、国や都道府県などによる施策や事業などの紹介、医療機関の取組事例の紹介など、医療従事者の勤務環境の改善に役立つ情報を提供するサイト「いきいき働く医療機関サポートWeb」（いきサポ）のことです。

問 19-1. 「いきサポ」をご覧になったご感想をお聞かせください。（1つ選択）

1. 非常に参考になる
2. 参考になる
3. あまり参考にならない ⇒問 19-3 へ
4. まったく参考にならない ⇒問 19-3 へ

問 19-2. 「いきサポ」で参考になるページ・情報を教えてください。(いくつでも)

1. 「検索ワードランキング」
2. 「『参考にされた』 取組事例・提案」
3. 「取組事例・提案の紹介」
4. 「資料のダウンロード」
5. 「FAQ ～よくある問合せ～」
6. 「役に立つ情報」の「国の政策情報」
7. 「役に立つ情報」の「各種通知・審議会等」
8. 「役に立つ情報」の「関係団体による取組」
9. 「役に立つ情報」の「イベント開催案内および開催報告について」
10. 「役に立つ情報」の「各都道府県における取組」
11. 「役に立つ情報」の「各都道府県の医療勤務環境改善支援センター」
12. その他 ( )

問 19-3. 「いきサポ」で充実してほしい情報があれば教えてください。

問 19-4. あなたは、「いきサポ」を何からお知りになりましたか。(いくつでも)

1. 都道府県庁又は医療勤務環境改善支援センターの紹介
2. 都道府県労働局からの紹介
3. 厚生労働省のホームページを見て
4. 医療関係の新聞・雑誌、ウェブサイト、メールマガジンなどを見て
5. 同僚・知人などからの口コミ
6. その他 ( )

問 20. 「いきサポ」では、医療機関の勤務環境改善の取組を掲載して、勤務環境改善に取り組んでいることを広報することができます。貴院の取組で勤務環境改善の効果が高いものを「いきサポ」でご紹介してもよろしいでしょうか。(1つ選択)

1. 紹介してもよい
  2. 紹介することを検討したい
- ↓
3. 紹介したくない

本事業受託者（株）日本能率協会総合研究所）担当者より、「いきサポ」へのご出稿についてご連絡させていただきます。

下記に、ご担当者のご連絡先をご記入ください。なお、いただいた個人情報については、「いきサポ」への出稿依頼以外には使用いたしません。

貴院名	
ご住所	(〒      -      )
ご所属	
お名前	
お電話番号	
メールアドレス	

<医療勤務環境改善支援センターについて伺います>

問 21. あなたは、「医療勤務環境改善支援センター」(※5)について、ご存じですか。(1つ選択)

1. すでに利用したことがある
2. 利用したことはないが、活動内容を知っている
3. 利用したことはなく、活動内容も知らないが、名前は聞いたことがある
4. 知らない

※5：「医療勤務環境改善支援センター」は、平成26年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に順次設置されています。

問 22. 今後の「医療勤務環境改善支援センター」の利用についての意向を教えてください。(1つ選択)

1. 利用したい
2. 利用することを検討したい
3. 今のところ利用は考えていない




問 23. 問 22 について、そう考える理由を教えてください。

--

#### <勤務環境改善モデル事業への参加のご案内>

問 24. この厚生労働省委託事業では、医療機関を対象として勤務環境改善に取り組むモデル事業を実施します。モデル事業の概要は以下のとおりです。

「医療勤務環境改善マネジメントシステム」を活用して勤務環境改善に取り組んでみたい、あるいはこれまでの取組を充実・強化したいとお考えの医療機関の皆様、この機会にこのモデル事業に参加してみませんか。(1つ選択)

- |   |   |
|---|---|
|  | <ol style="list-style-type: none"><li>1. 参加してみたい・参加を検討したい</li><li>2. 関心はある・話を聞いてみたい</li><li>3. 関心はない・参加するつもりはない</li></ol> |
|---|---|

本事業受託者(株)日本能率協会総合研究所)担当者より、モデル事業についてご連絡させていただきます。下記に、貴院のご担当者のご連絡先をご記入ください。なお、いただいた個人情報については、モデル事業に関するご連絡以外には使用いたしません。

貴院名	
ご住所	(〒                    )
ご所属	
お名前	
お電話番号	
メールアドレス	

## 医療勤務環境改善モデル事業とは？

平成 26 年 10 月に施行された改正医療法では、医療機関の管理者は医療従事者の勤務環境の改善その他の医療従事者の確保に資する措置を講ずるよう努めなければならないこととされました。国では、各医療機関が勤務環境改善に適切・有効に取り組めるよう、「医療勤務環境改善マネジメントシステムに関する指針」を定めるとともに、医療勤務環境改善マネジメントシステム（以下「マネジメントシステム」といいます。）を導入するための手引書を作成して、PDCA サイクルを通じた体系的・継続的な勤務環境改善の取組の促進を図っています。

本調査研究委託事業では、医療機関におけるこれらの取組がより一層進むよう検討するため、各都道府県の医療勤務環境改善支援センター（以下「支援センター」といいます。）との連携・協力の下、勤務環境改善に取り組んでいきたい、あるいは取組をより充実・強化していきたいとお考えの医療機関に対し、マネジメントシステムを活用した勤務環境改善の取組をお手伝い・支援するモデル事業を実施します。

モデル事業は、ご協力いただける医療機関（全国で 10 か所程度までを想定）に対して、以下により実施し、協力医療機関における取組の成果や課題等を確認するとともに、マネジメントシステムのよりよい活用方法について検証を行います。

実施内容は以下のとおりです。

支援方法	協力医療機関への訪問及び通信（メール、電話等）により、勤務環境改善やマネジメントシステムに関するアドバイスや情報提供を行います。また、取組の進捗状況や課題等について聴取します。
支援時期	1 協力医療機関につき本調査研究事業の受託者である(株)日本能率協会総合研究所のコンサルタントが 2 回程度訪問します。また、メール、電話等による連絡・支援を行うこともあります。この他、適宜、地元の支援センターの支援、相談等も活用します。 <スケジュールの目安：訪問時期等の詳細は個別にご相談します。> 初回支援・聴取：平成 28 年 9 月頃 中間支援・聴取：平成 28 年 11~12 月頃 最終支援・聴取：平成 29 年 2 月頃
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マネジメントシステムの手引書等の必要資料の提供</li> <li>・マネジメントシステムの手引書や手引書所収の支援ツールの活用方法等についての相談、アドバイス</li> <li>・他の医療機関における取組事例の紹介・情報提供</li> <li>・支援センター等関係機関との連絡調整等</li> </ul> ※ 本調査研究事業の検討に活用させていただくため、貴院の概況等の基礎情報、本モデル事業の実施を通じた勤務環境改善の取組の進捗状況や成果・課題等についてもお伺いさせていただきます。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。